



4年
もがみ
最上 裕希くん

※お手本をよく
見て、曲がり、
はねなどの筆
使いに気がつ
けて書きまし

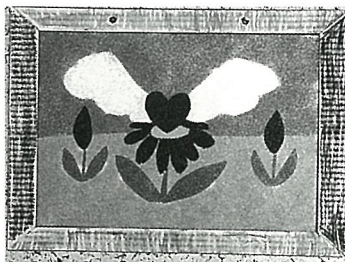


1年
じつかわ
貴川 しほり
菜さん

※一ばんすきな
のは、チーター
だよ。かっこ
いいでしょ。
小鳥もかわい
いでしょ。



『すきなものいっぱい』



『花の中のハートの天使』



5年
おおき し おり
大木詩央理さん

※工夫したとこ
ろは、ハート
に天使の羽を
つけたところ
です。



『きれいな花』



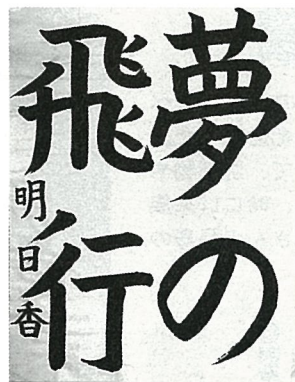
2年
いしはし
石橋 伸能くん

※一ばんがんば
ったのは、い
ろいろな形の
花びらをたく
さんかさねた
ことです。



6年
なかむら
仲村明日香さん

※「飛」という
文字の形をと
るのがむずか
しくて、苦労
しました。



3年
えりこ
桑田愛里子さん

※ふしぎな花が
さいているお
花畑で、ちょ
うちよが楽し
くあそんでい
る絵です。



『ちょうちょランド』

ひかり俳壇



川島 孝夫 (二又)
風に乗り夏野に母子の童うた

昭和も中期位の光景である。親
子の遊び心を失ったことが今の世
相の根源であろう

越川せつ子 (篠本)
川風に髪なびかせて夏野

夕飯の準備を済ませて栗山河畔に
佇むと野を吹き来る風の匂いに夏
来るの感を深くする

秋山 一泉 (栢田)
道一歩かわりし夏野五十年

半世紀の間に農耕地も全て様変り
し夏草茂る草原も変り今昔の感に
堪えない

大木 静水 (篠本)
満ち溢るる栗山堰の夏の音

土屋 義昭 (虫生)
落暉美し夏野を一人子が帰る

越川 義則 (二又)
生い茂る青野の原にすいこまれ

短評 椎名しげる

評者吟 綿投げしごとき浮雲夏野原